

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成29年度取組結果】

団体名	ひびき灘開発 株式会社
-----	-------------

所管課	港湾空港局 総務課
-----	-----------

<p>団体に対するミッション</p> <p>会社の設立目的である廃棄物処分事業を通じた市民生活、企業の産業活動支援を長期安定的に継続する。</p> <p>また、市と連携を図りながら、ひびきコンテナターミナル後背地の特性を生かした、土地の利活用を推進する。</p> <p>さらには、これまでに培ったノウハウ（技術）の活用や、環境首都を目指す市の環境政策と連動した、資源循環・次世代エネルギー事業等への参画などを通して、響灘地区を中心とした北九州市の活性化に寄与する。</p>
--

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>平成21年度からの5カ年計画に基づき、長期安定的な廃棄物処分場の確保、港湾・物流機能の活性化、北九州市及び地域発展の貢献、経営体制の強化と自立した組織運営を基本方針として事業を遂行しており、引き続き、長期的に健全な経営を維持するよう取り組む。</p>
--

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	主事業である産業廃棄物処分事業について、搬入量の安定的確保により健全経営を維持する。また、土地利活用の推進や新規事業の創造により、収益構造の強化と発展を目指す。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H28 実績	H29 目標 実績		H30 目標	H31 目標	H32 目標	H33 目標
廃棄物搬入量の確保	26万トン	23万トン	23万トン	23万トン	次期中期経営計画の策定時に設定		
分譲地の売却及び賃貸	10,503万円	14,400万円	4,830万円	14,900万円			
エコタウンセンター年間視察者数	91,407人	10万人以上	101,796人	10万人以上			
響灘ピオトープ年間来場者数	18,224人	19,500人	20,312人	20,000人			

ミッションの遂行状況の評価（平成29年度）

<p>団体における評価</p> <p>主力事業である廃棄物処理事業においては、目標の23万トンを確保し健全経営を維持することができた。エコタウンセンター及び響灘ピオトープについても、積極的な広報活動により目標来場者数を達成することができた。分譲地の売却実績はなかったが、賃貸については新規契約により目標を達成できた。土地分譲については実績をあげられなかったが、社の事業全体としては満足できるものである。</p>	<p>市の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の廃棄物減量化の取組等により全国的に産業廃棄物量が減少する中、目標値を達成しており、企業の産業活動を支援する重要な役割を担っている。 ・エコタウンセンター、響灘ピオトープの指定管理業務について、ともに来場者目標を達成しており、響灘地区を中心とした市の環境施策に寄与している。 ・分譲地の売却実績がなく、分譲地の売却及び賃貸は目標値の達成には至らなかった。
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>今後も減少傾向が予測される廃棄物については、安定的な収入確保に向けた営業強化を行っていく。指定管理最終年度となるエコタウンセンター及び響灘ピオトープについては、引き続き効果的な広報活動を積極的に行い、集客増加を図る。土地分譲については、響灘地区におけるエネルギー産業関連の動向を注視し、着実な営業活動を行っていく。</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動強化による事業継続に必要な目標搬入量の確保 ・ひびきコンテナターミナル後背地の特性を活かした土地の利活用の推進や、「再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成」等、市が実施する政策との連携強化。 ・響灘地区の発展に寄与する新規事業を創造し、新たな収益源を確保することで、長期安定的な経営を継続。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
<p>産業廃棄物の搬入量は今後も減少傾向が続くことが予測される中、3号地の嵩上事業による安定的な廃棄物処分場の確保や、安定的な収入の確保に向けた廃棄物の営業強化、経費削減に取り組んでいる。また指定管理業務や市が取り組む新たなエネルギー産業の拠点形成との連携検討など、長期的な健全経営維持に取り組んでいる。</p>	